
Ⅲ. 2008年度の業績予想

連結設備投資額（セグメント別）

〈単位：億円〉

	2008/3	2009/3予想	主要行使内容
運 輸 業	500	605	鉄道事業（安全性向上等）
流 通 業	34	53	
不 動 産 業	71	131	新規賃貸資産
レシ`ャ-`サ-ビ`s業	49	66	
そ の 他	10	6	
（ 連 結 修 正 ）	△ 8	△ 7	
合 計	657	857	

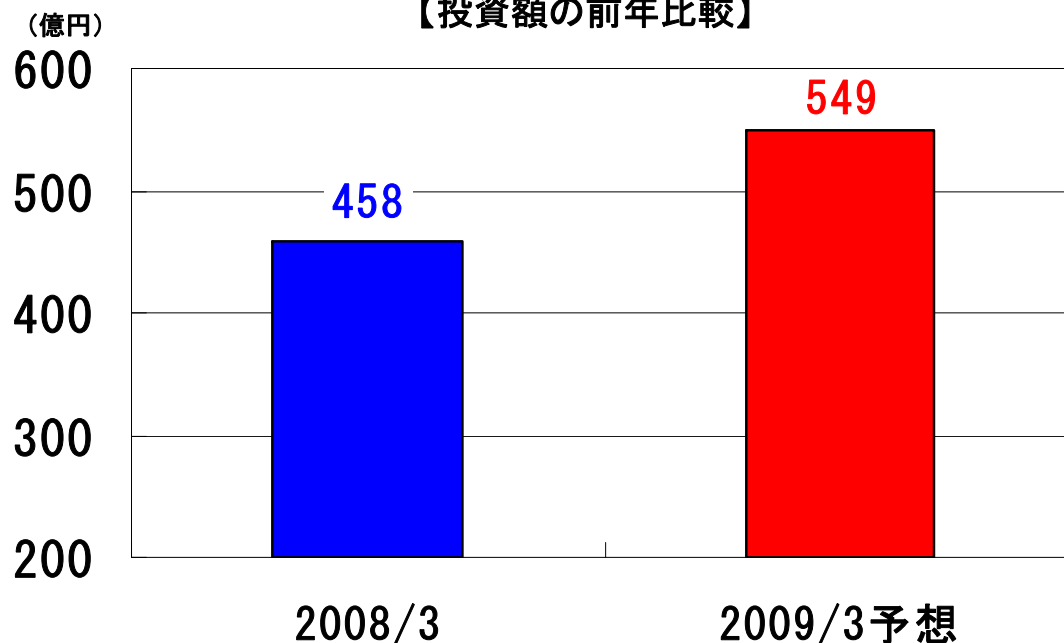
※ 上記の設備投資額は、資本的支出の金額を記載している。

鉄道事業投資額

〈単位：億円〉

項目	2008/3	2009/3予想	増減	増減率 (%)
安全性向上	380	433	53	14
サービス向上	66	100	34	51
環境対策・その他	11	15	4	42
合計	458	549	91	20

【投資額の前年比較】



- 主な安全性向上投資**
- ・ 自動列車制御装置 (ATC) 導入
 - ・ 車両代替新造
 - ・ 調布駅付近連続立体交差事業

1. 連結損益計算書

〈単位：億円〉

	2008/3	2009/3予想	増減	増減率
連結営業収益	4,291	4,280	△ 11	△ 0.3 [%]
連結営業利益	419	336	△ 83	△ 19.9
連結経常利益	388	298	△ 90	△ 23.3
連結当期純利益	181	162	△ 19	△ 10.6
連結EBITDA	723	671	△ 52	△ 7.2

	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	その他
(営業収益)	△ 5億円	△ 15億円	+ 4億円	+ 9億円	+ 6億円
(営業利益)	△ 56億円	△ 8億円	△ 1億円	△ 10億円	△ 10億円

- (注) 1. 連結EBITDAは、連結営業利益 + 減価償却費により算出している。
 2. 事業セグメント別の営業収益、営業利益の増減額には、セグメント間取引を含む。

主な業績の変動要因

[連結営業収益・営業利益]

＜運輸業－減収減益＞ ○（鉄道事業） 共通ICカード乗車券導入の反動減設備投資に伴う減価償却費の増

＜流通業－減収減益＞

＜不動産業－増収減益＞

＜レジャー・サービス業
－増収減益＞ ○（ホテル業） 新規店舗の開業

＜その他－増収減益＞

[連結当期純利益]

- （特別利益） 特定都市鉄道整備準備金取崩終了
- （特別損失） 減損損失の減

2. 事業セグメント別の営業収益

〈単位：億円〉

	2008/3	2009/3予想	増減	増減率
運 輸 業	1,324	1,319	△ 5	△ 0.4 [%]
流 通 業	1,901	1,886	△ 15	△ 0.8
不 動 産 業	237	242	4	1.9
レシ`ャ-`サ-ビ`s業	738	748	9	1.3
そ の 他	554	561	6	1.2
小 計	4,756	4,759	2	0.1
(連 結 修 正)	△ 464	△ 479	△ 14	—
合 計	4,291	4,280	△ 11	△ 0.3

3. 事業セグメント別の営業利益

〈単位：億円〉

	2008/3	2009/3予想	増減	増減率
運 輸 業	195	139	△ 56	△ 28.8 [%]
流 通 業	70	62	△ 8	△ 12.0
不 動 産 業	90	89	△ 1	△ 1.3
レシ`ャ-`サ-ビ`s業	46	36	△ 10	△ 22.6
そ の 他	26	16	△ 10	△ 40.6
小 計	429	345	△ 84	△ 19.6
(連 結 修 正)	△ 9	△ 8	1	—
合 計	419	336	△ 83	△ 19.9

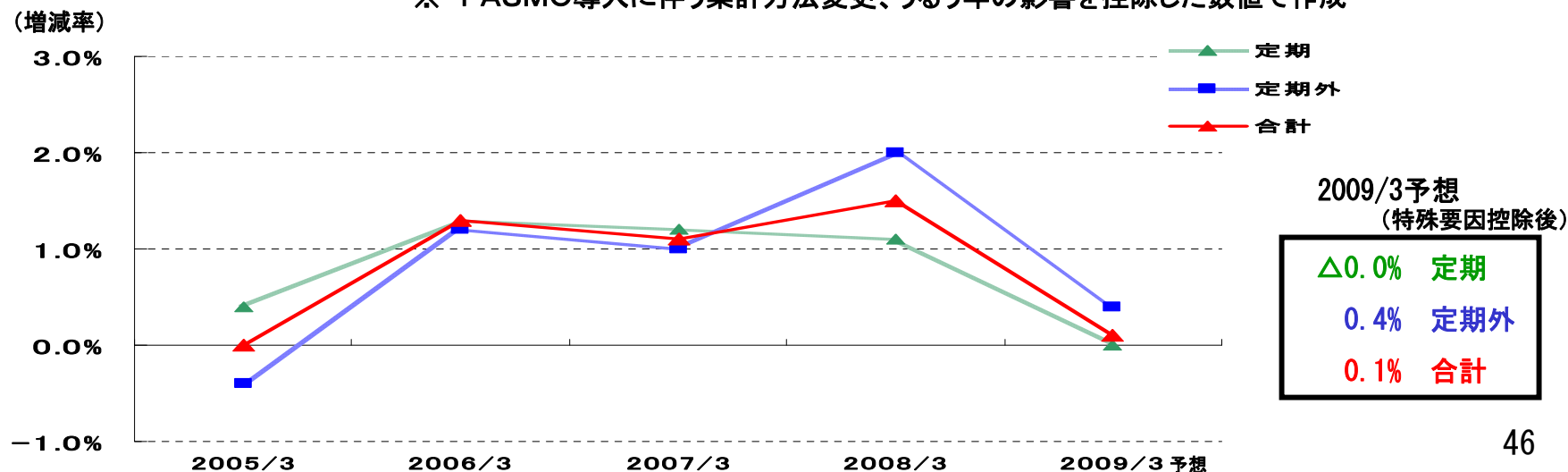
鉄道事業輸送人員

<鉄道事業輸送人員>

	2008/3	2009/3予想	増減	増減率
輸送人員	千人	千人	千人	%
定期	363,097	359,498	△ 3,599	△ 1.0
（通勤）	272,275	271,322	△ 953	△ 0.4
（通学）	90,822	88,176	△ 2,646	△ 2.9
定期外	269,291	269,395	104	0.0
合計	632,388	628,893	△ 3,495	△ 0.6

<対前年増減率の推移>

※ PASMO導入に伴う集計方法変更、うるう年の影響を控除した数値で作成



【Ⅲ－Ⅲ. 2009・2010年度の予想】

鉄道事業投資、連結利益の推移

